総合ポイント制度の展開と JAの果たす役割

～組合員加入促進と対応強化をめざして～

松本ハイランド農業協同組合

代表理事組合長　伊藤　茂

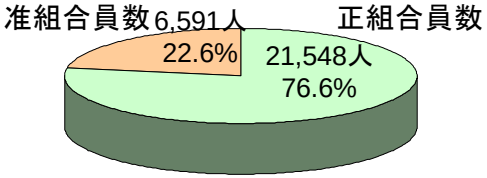
1　JA松本ハイランドの概要

人と自然の夢あわせ

平成20年度末　事業概況と生産MAP

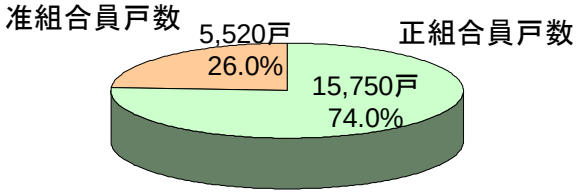
組合員の状況（1）

組合員数　28,139人

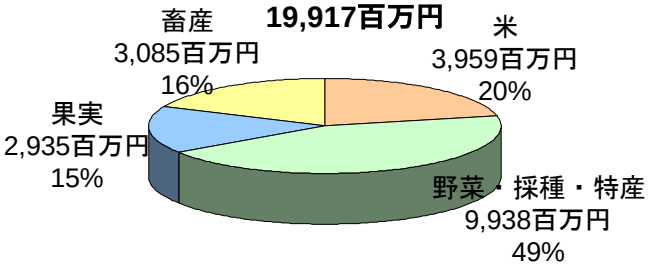


組合員の状況（2）

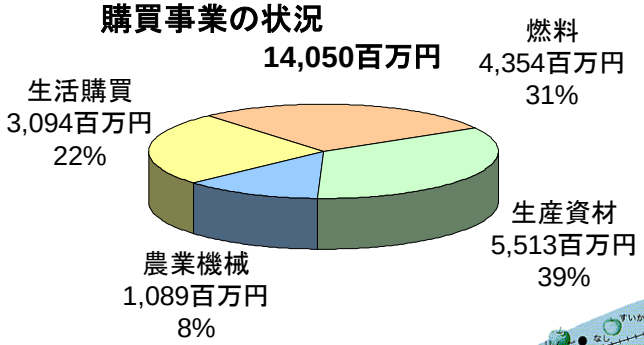
組合員戸数　21,270戸



販売事業の状況

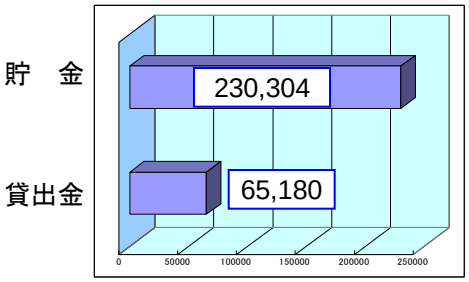


購買事業の状況



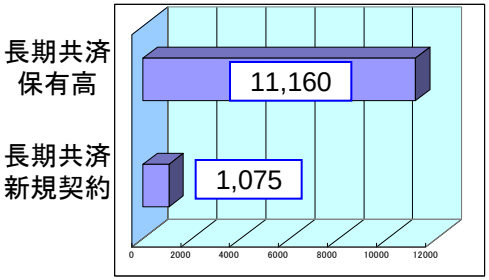
信用事業の状況

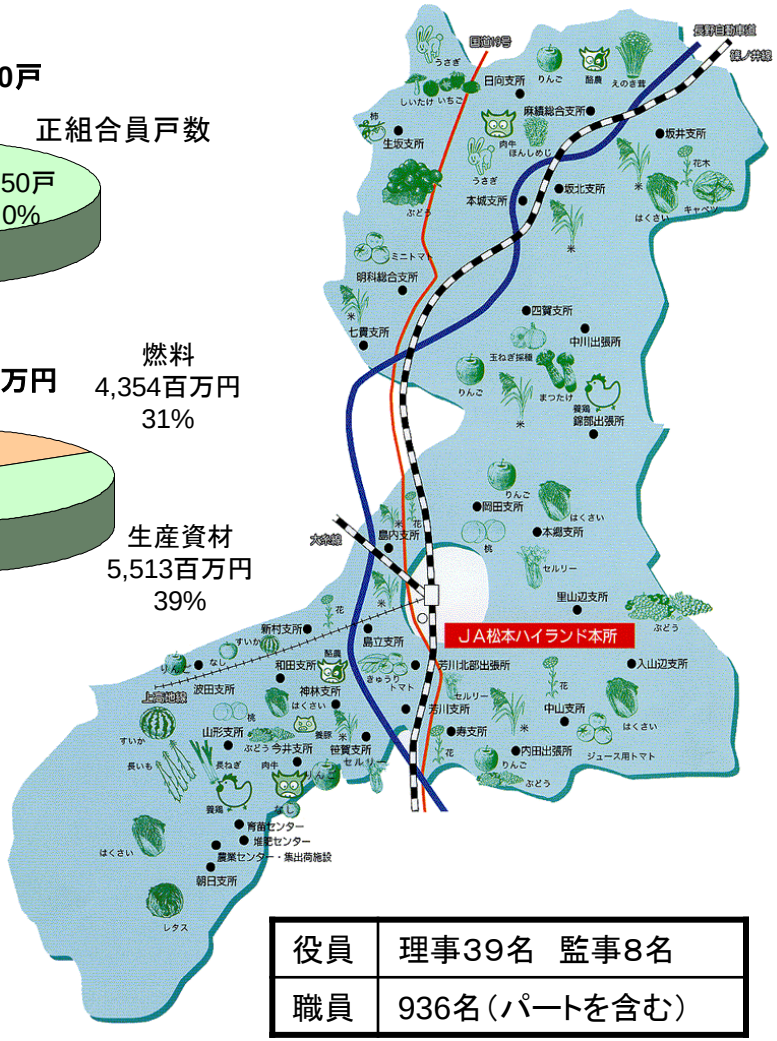
（期末残高）単位：百万円



共済事業の状況

単位：億円





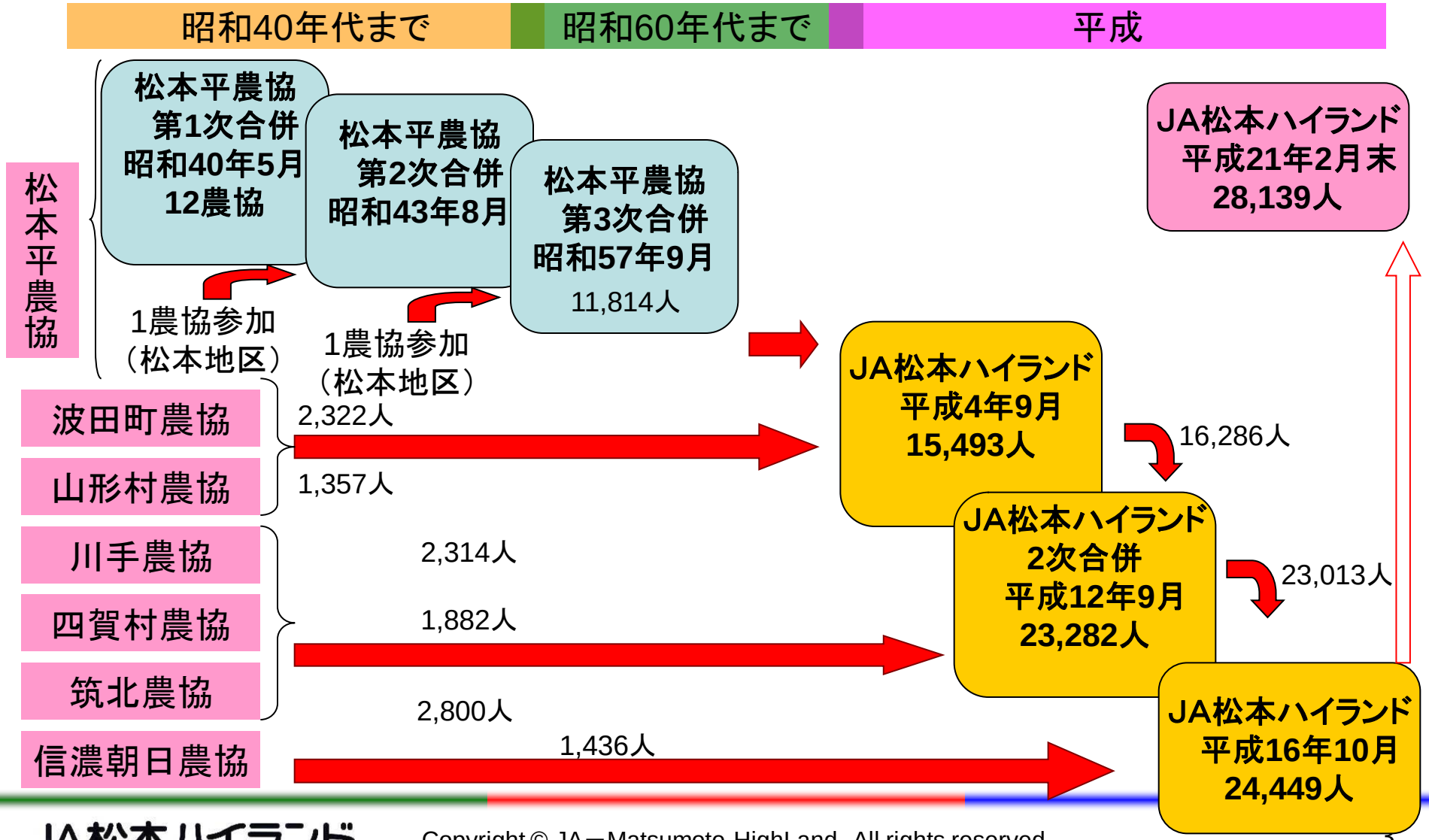
役員	理事39名　監事8名
職員	936名（パートを含む）

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

2 合併がつくり出した人の輪・協同の力

合併の変遷

※組合員数は、正・准合計



Copyright © JA－Matsumoto-HighLand All rights reserved

3 JA松本ハイランド　平成20年度経営概要

人と自然の夢あわせ

平成20年度決算　剰余金処分

単位：円

当期未処分剰余金		800,212,308
利益準備金	150,000,000	
目的積立金	140,840,074	
出資配当金	61,846,293	
利用分量配当金	100,000,000	
次期繰越剰余金	347,525,941	

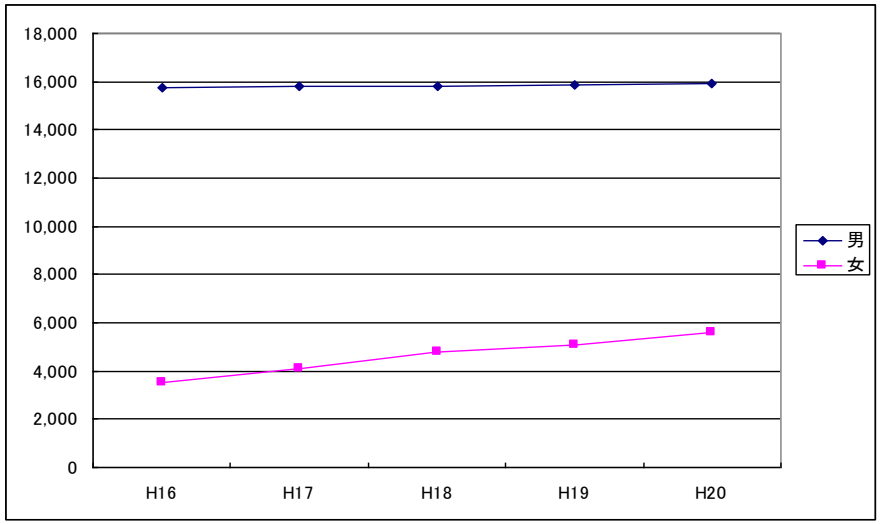
- 出資配当：年1%　配当金は出資予約貯金へ振り込み処理
- 利用分量配当の、70%を回転出資金
- 5年後の回転出資金の払い戻しは普通貯金口座振込み

利用分量配当金の基準

定期性貯金平均残高	34%
貸出金受入利息	8%
長期共済年度末満期額	38%
販売品振込額	20%

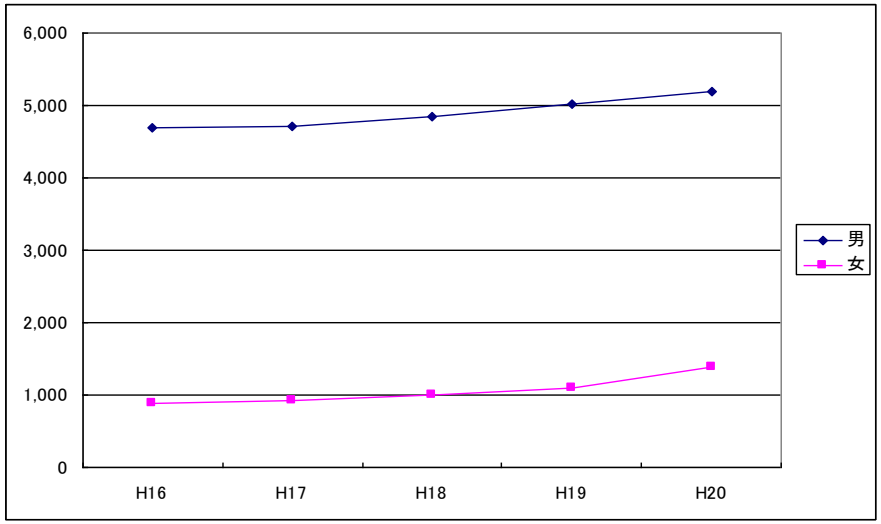
Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

4　JA松本ハイランド組合員状況①　推移



正組合員数の推移

年度	男	女	合計
H16	15,758	3,524	19,282
H17	15,781	4,073	19,854
H18	15,830	4,764	20,594
H19	15,854	5,081	20,935
H20	15,924	5,624	21,548



准組合員数の推移

年度	男	女	合計
H16	4,701	886	5,587
H17	4,719	931	5,650
H18	4,845	998	5,843
H19	5,012	1,103	6,115
H20	5,197	1,394	6,591

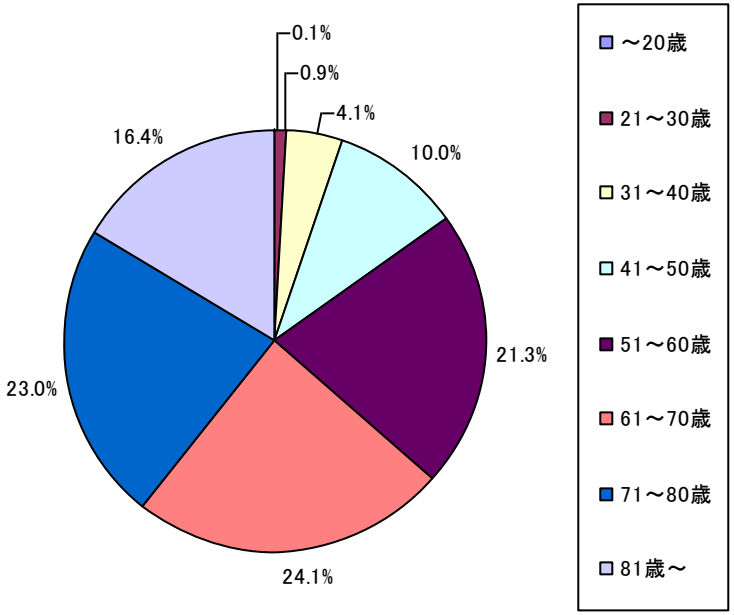
Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

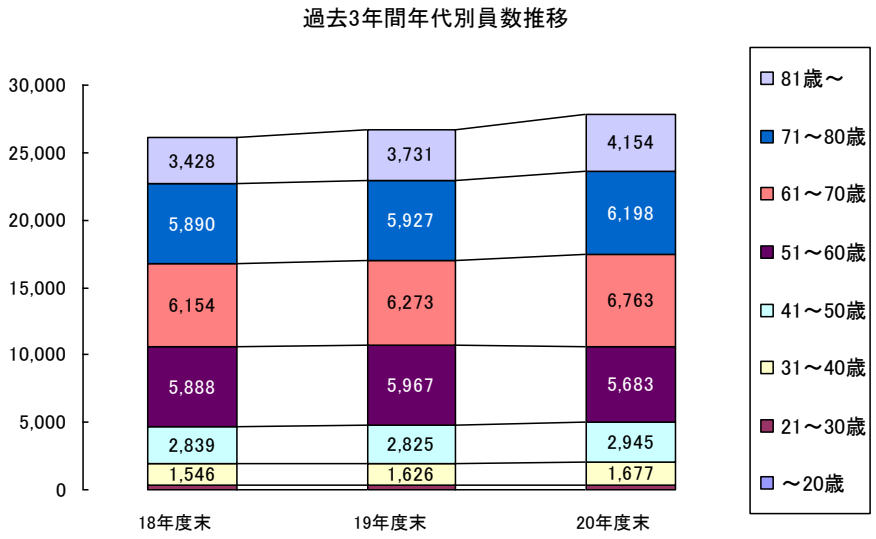
4　JA松本ハイランド組合員状況②　世代別構成

組合員の高齢化と若年層の加入鈍化

70歳以上　正組合員比率　40%

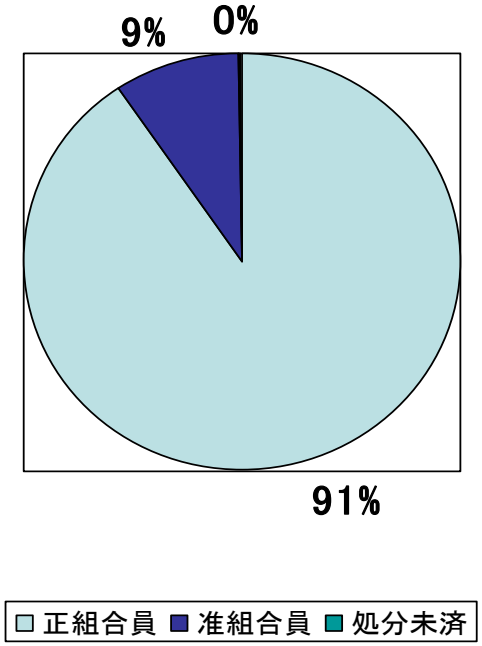
年代別員数構成表（正組）





Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

4　JA松本ハイランド組合員状況③　出資金状況



区分	出資金額
正組合員	5,639,300千円
准組合員	562,845千円
処分未済持分	19,490千円
合計	6,221,635千円

出資1口金額:5,000円　　出資口数限度:2,000口　（10,000,000円）

員外利用率調査結果より

区分	信用貯金	信用貸出	共済掛金	販売	購買	購買内訳						
						生産	農機	葬祭	宅配	LPG	店舗	SS
20年度	22.2%	7.7%	5.6%	1.7%	7.1%	0.8%	1.6%	9.4%	1.8%	9.7%	0.5%	19.2%

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

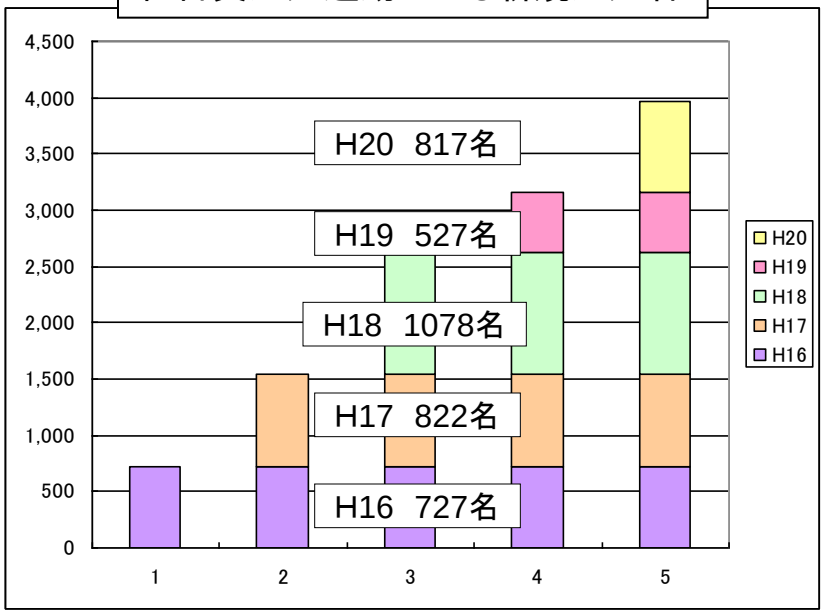
4　JA松本ハイランド組合員状況④　出資金の推移

出資金の推移　　（単位：百万円）

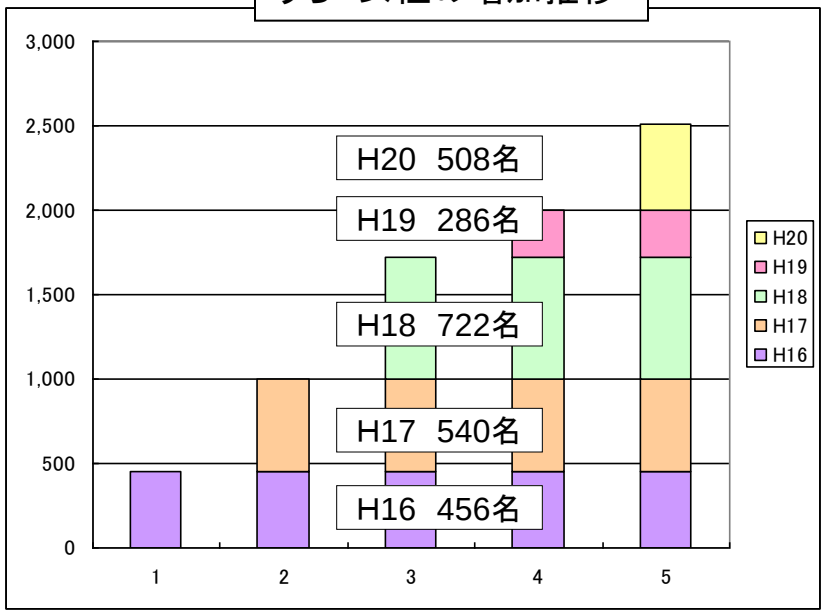
平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数
6,217	100	6,193	99	6,217	100	6,218	100	6,221	100
出資金の増減		増加額	減少額	増加額	減少額	増加額	減少額	増加額	減少額
		163	188	193	170	188	186	190	187

※増減額には、相続による継承額がそれぞれ含まれます

組合員加入運動による新規加入者



うち　女性の増加推移



Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

5 ポイント制度導入と環境分析

人と自然の夢あわせ

社会・地域環境の変化

1. 少子高齢化 （農業者の減少と高齢化）
2. 農業生産力低下（担い手不足、遊休荒廃農地増加、販売不振・コスト高騰）

JA環境（組織・事業・経営）

1. 組織の弱体化 （組合員減少、准組合員増加、JAばなれなど）
2. 事業収益低下（信用・共済収益減少、経済事業不振、営農指導コスト負担など）
3. 不透明な経営展望（信連奨励金等信用収益、共済付加収入低下など）

JAの方向性

⇒

地域農業協同組合を目指す（JAの総合性発揮）

組合員の共感を得る（経済メリット・非経済メリット）

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand All rights reserved

6 組合員対応と加入促進①

方向性の実現には・・・・

- **より多くの地域生活者に組合員（＝加入促進）**
- **JAの事業等のサービスに満足感をもってもらう（＝対応強化）**

組合員の視点から

組合員（出資）は、JAの活動に一定の満足を希望
•生産者として：農業所得確保
•消費者として：経済的なメリットの確保・役立つ情報等

地域の視点から

• 地域経済を担うJAとして、存続することでの地域貢献（雇用の創出・事業の提供・地域のコミュニケーション等）

職員の視点から

• JAを通じた社会的地位・生活の糧の確保、社会貢献による自己実現のためのJA存続

JA経営の視点から

• JAの究極の目的は協同活動の実現であり、その基礎は、組合員対応強化・加入促進による組織強化と事業の健全な発展があってはじめて可能となる。
• 員外利用制限（原則、5分の1以内）を遵守・・・利用者＝（准）組合員へ

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand All rights reserved

6　組合員対応と加入促進②

組合員対応を強化するには・・（具体的取組み）

（1）組合員メリットの明確化と創出による満足度の向上

① 組合員の意思反映（実現）による満足度の向上
懇談会等のコミュニケーション強化、渉外活動・皆訪問（一斉訪問）によるコミュニケーション強化

② 事業利用による満足度の向上 ～魅力あふれる事業の提供～
事業別メリットの追求とともに、**利用高配当等による還元**によって、組合員の満足度の向上をはかる。また、**総合事業の特性を活かした総合ポイント制度の導入**により、組合員メリットの向上を

③「仲間づくり」による自己実現、「学び」をとおした自己成長による満足度の向上
組合員組織活動や組合員自らの活動による新規の仲間づくりによる自己実現、環境・健康等の講演会等の学びによる自己成長によって満足度の向上を

組合員組織活動・講演会への参加等協同活動に対するポイント付与を

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

7　総合ポイント制度を導入経過

- JA長野県長期構想～協同の創造ビジョン～（平成19年度～平成24年度の6ヵ年計画）
  - 組合員の総合的な事業利用メリットと協同活動への参画のメリットの明確化
  - 組合員加入を促進する手段として、JAの中期計画に総合ポイント制度の導入明記
- 平成18年10月　第24回JA全国大会　総合ポイント制度の研究・検討を決議
  - JA全中、平成19年2月より先進導入JAや県域などをメンバーとする総合ポイント制度研究会（4回の検討）
  - 平成20年3月、長野県が開発するシステムをベースに要件確定
  - 全国域（信用事業）の要件結合をはかり、全国標準版のシステム開発の方向が確認
- 平成19年6月　JA長野県総合ポイント制度研究会設置
- 県内システムの開発は、（株）長野県協同電算が担当
- 平成20年10月　JA松本ハイランドで県内先行稼動

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

8　全国大会→県長期構想→JA長期構想へ

人と自然の夢あわせ

第24回JA全国大会議案より

【組合員加入の促進】

女性
農業就業人口に占める女性の割合：55.2%
JA正組合員に占める女性の割合　：15.7%

新規就農者
年間約8万人（全国）

組合員加入メリットを明確にした組合員加入促進

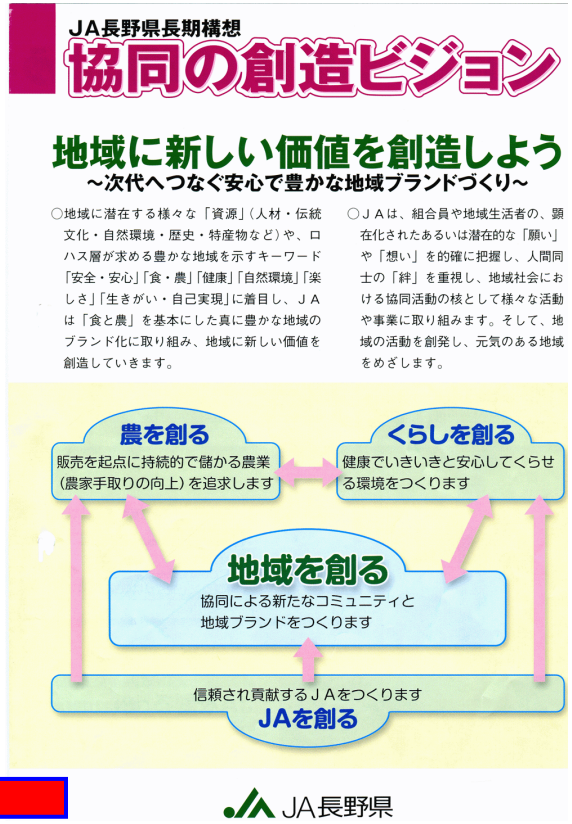
○生産技術指導
○価格・取引条件優遇
○出資配当・利用高配当
○総合ポイント
○各種情報提供・相談対応

○JA運営への意思反映
○協同活動への参加
○JA運動を通じた環境保護、地域貢献
○サークル・学習活動やイベントへの参加による趣味教養と実益の享受

安定的事業利用者

加入促進の取組みを契機に、各JAが地域におけるJAの役割と魅力を再確認

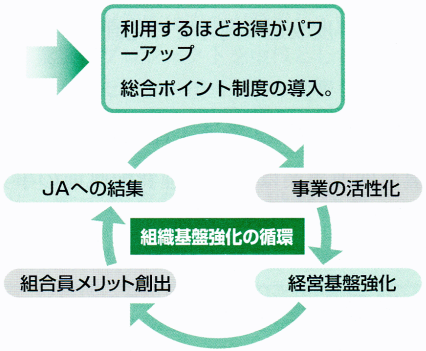
JA－Aの事例
○中期計画の柱に組合員加入促進を掲げ、数値目標を設定
○年間新規正組合員加入者数　255名
〃　准組合員加入者数　937名
○組合員のうち、女性の割合　30%
○青年部員の96%が組合員



JA長野県　長期構想

4　組合員メリットの明確化と総合ポイントサービス導入

1．総合ポイント制度の導入
①組合員メリットによる組合員の拡大
②事業利用者へのサービスの明確化
③ポイントによるJA事業利用拡大
④組合員証（カード）による組合員としての共通意識の創出
⑤20歳代～40歳代の組合員加入の促進の特典の創出
⑥JAの新たな事業への取り組み



JA松本ハイランド長期構想　前期中期計画

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

9　JA松本ハイランドポイント制度

JA松本ハイランドのポイント制度＝　**JA松本ハイランド組合員総合ポイント制度**

- 店舗の販促目的のみではない。
- 金融のノベルティ対策のみではない。

全組合員（正・准）がポイント会員（組合員＝ポイント会員　※申し出により対象外に）

組合員加入運動のツールの1つ

夢あわせポイント

事業分量配当（利用高配当）との違いの明確化

- 事業によるポイント付与は、利用配当対象外を（購買事業）　別紙付与基準
- 金融は、新規取引とサービスに限定
- 戸から個へ　※

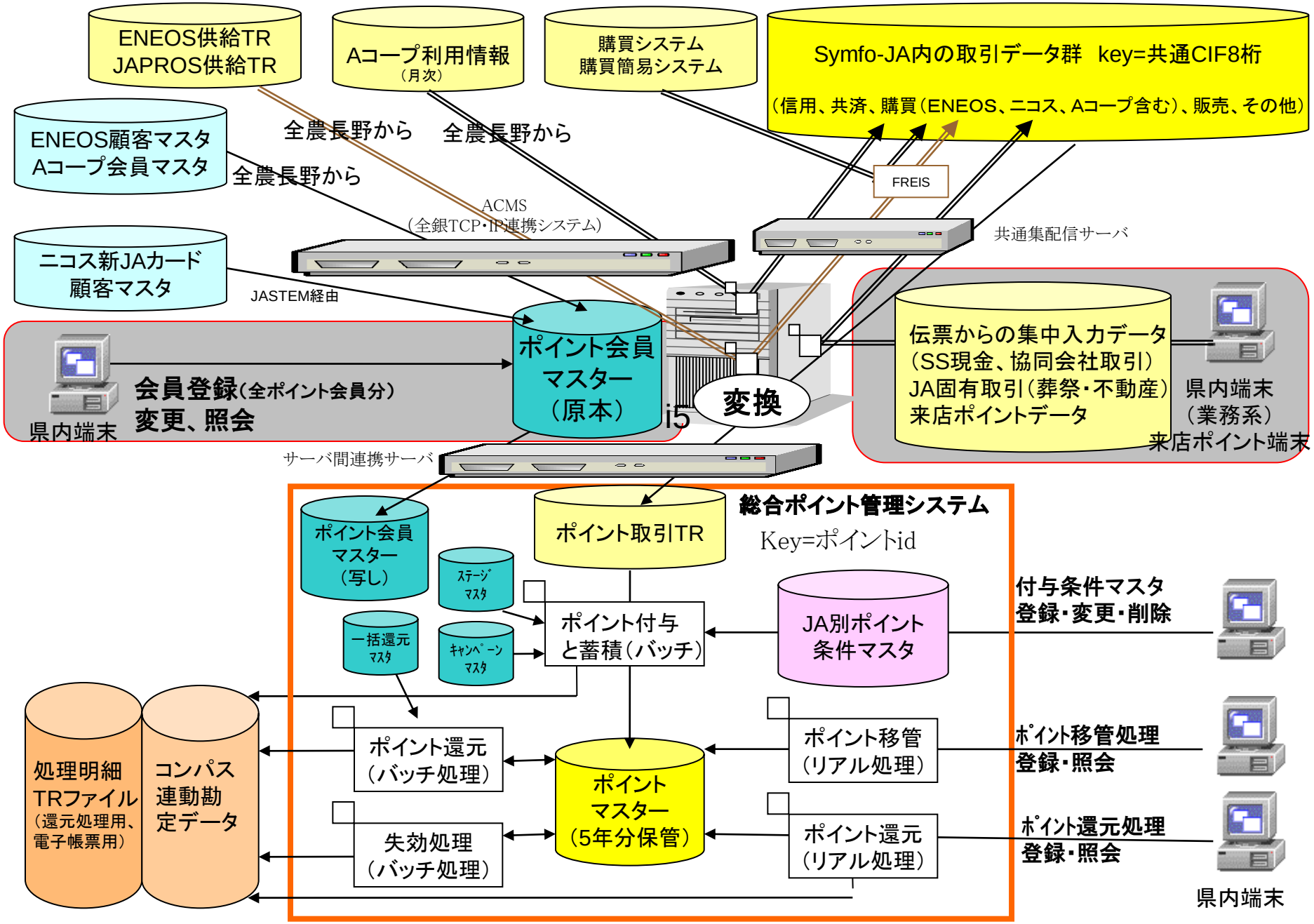
組合員組織活動・協同活動参加もポイント付与対象

※　従来、利用高配当は組合員世帯で家族取引についても組合員取引としてカウント（家族名寄せ）を実施していたが、当局からの指導もあり個人取引に限定した。このため対象者へアプローチを実施

- システム開発は、JA長野県関連会社（㈱長野県協同電算）開発の共同利用
- メディア（会員カード）発行は未対応（カードの活用方法が見えない）

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

総合ポイント制全体機能概要図　　JA長野県構成



10　ポイント付与基準①

ＪＡ松本ハイランド組合員総合ポイント制度　ポイント付与基準表					
項　目	基　準			基準付与ポイント	付与計算付与時期
組合員	平成２０年９月３０日現在、組合員の方		お１人様につき	100	平成20年10月1日
組合員加入	１０月１日以降、加入申込み				登録処理月の翌月7日以降の購買営業日
組織活動	支所運営懇談会	各懇談会参加	1回につき	150	登録処理日
	集落懇談会			100	
	営農懇談会				

協同活動へのポイント

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

10　ポイント付与基準②

事　業	区　分	取　引	対　象	基準単価など	基準付与ポイント		付与計算付与時期
信　　用	定期性貯金	定期貯金	新規契約時 預入期間１年以上	契約金額・満期金額 10万円ごと	15		月末締 翌月上旬
		定期積金	新規契約時 積立期間１年以上				
	融　　資	貸出金 （貯金担保・共済担保等を除く）	新規契約	20万円ごと	100		
	機能取引	年金受取	件数	1件以上	月あたり	10	月末締 翌々月上旬
		給与振込	金額・件数	5万円以上で1件以上	月あたり	10	
		公共料金自動支払	電気、電話、 ガス、水道、NHK の口座振替	１ヵ月あたり 1種類ごと	月あたり	1	
		JAカード	利用代金または 年会費の口座振替	月中の口座振替に対して		5	

事業ポイント　信用事業

貯金・融資の新規取引とサービスに対して

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

10　ポイント付与基準③

事　業	区　分	取　引	対　象	基準単価など	基準付与ポイント	付与計算付与時期
購　買	生産資材	肥料	購入金額	1,000円ごと	1	業後締当日付与（取引日）
		農薬				
		施設資材				
		飼料				
		農業機械				
	生　　活	宅配	購入金額	1,000円ごと	1	
		食品				
		生活用品				
		耐久・電気				
		給油所				
		LPガス				
その他	購　　読	家の光	年間購読	前納支払契約	年 100	登録処理日
		地上			年 50	
		ちゃぐりん				
		日本農業新聞	月間購読	1部	月 10	登録処理日

事業ポイント　購買事業と教育資材

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

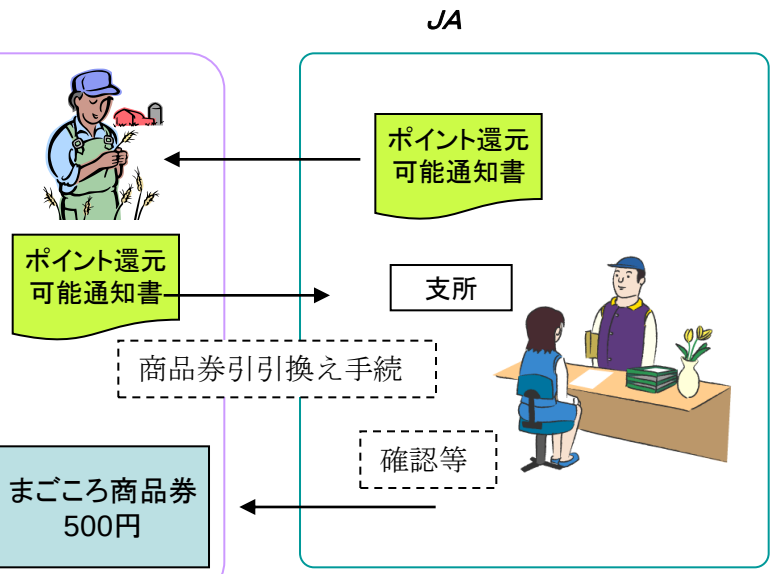
11　ポイント還元

人と自然の夢あわせ

◇還元方法の流れ（イメージ）

1. ポイント還元可能基準（600P以上）に達すると、ポイント還元可能通知書が届きます。（毎月20締）
2. ご都合の良い時に窓口で手続きをおとり下さい。
3. ポイント残高に合わせ、まごころ商品券と交換させていただきます。
4. 次回の還元通知書発行は、新たに600Pが新たに付与された時点で発行します。（前回の通知書は無効となります）

※　600Pは、返品等を想定し設定しました。



還元方法選択のポイント

- 事務量
- JAへ事業への反映
- 還元の可視化

ＪＡ商品券にて

ポイント還元可能通知書（イメージ）

夢合わせポイント還元可能通知書
○○　太郎　様
　平素は、当組合の事業をご利用いただき、ありがとうございます。
さて、現在の還元可能ポイントをお知らせいたします。
平成21年○月20日現在
1,400ポイント

※本用紙をお持ちいただき、所属支所にて、まごころ商品券（ポイント残500円単位）と交換いただけます。お手数ですが最寄のＪＡ支所窓口までお越しください。

松本ハイランド農業協同組合

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved

12　ポイントシステム課題　まとめ

人と自然の夢あわせ

経営結果（利用高配当）ではなく、収支計画で予算措置が必要・・・・

•本年度（平成21年度）は、金融危機の影響を受け厳しい収支計画樹立状況であった。購買事業は直接事業への反映があるため、大きな問題は無いが信用ポイントはコスト増となる。（ベネフィットが見えない）　→　あまり強めの付与基準の設定は経営に影響する。 21年度全体予算　約3000万円
•利用高配当との明確な違いが見出せない。

経費倒れでは本末転倒・・・・

•県域システム開発として電算コストは最小限に
•運用後の意見　購買伝票へのポイント印字　付与の明細（ポイント残高通帳的なシステム対応）

ポイント制度は、特効薬ではなく道具の１つとして位置づけ・・・・

•当JAの本年度（平成21年度）予算　3000万円程度の還元予算（1000円／１人）では、著しい経済メリットがあるとは言えない。　→　大風呂敷は広げられない
•組合員加入運動は、協同運動の根幹でありポイント制度はあくまで普及ツールの１つ

過度の期待は持たせない

忘れた頃に還元通知

Copyright © JA－Matsumoto-HighLand　All rights reserved